

平成30年度 福祉まるごと学会開催要領

- 1 趣 旨 地域共生社会の実現に向け、社会福祉士には複合化・複雑化した課題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制や、地域住民等が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制の構築を進めていくことが求められています。
各実践者の取り組みを、価値・知識・技術・倫理から考察するとともに、今後はソーシャルワーク専門職として相談支援と地域支援、そしてその接点に、どのような役割が期待されているかを共有していきます。
本学会では、その人がその人らしく暮らしていける支援及び地域共生社会の実現について学び合うことを目的に開催します。
- 2 主 催 公益社団法人長野県社会福祉士会
- 3 企画運営 福祉まるごと学会運営委員会
- 4 後 援 長野県／長野県社会福祉協議会／長野市／長野市社会福祉協議会／長野県精神保健福祉士協会／長野県医療ソーシャルワーカー協会／長野県介護支援専門員協会
- 5 日 時 平成30年6月9日(土) 13時30分～16時40分
- 6 会 場 長野市更北公民館（長野市青木島町大塚880番地5 Tel：026-284-2046）
- 7 日程内容
13:00～ 受 付
13:30～ 実践研究発表
 - ① 権利擁護（実践と課題、多職種連携、虐待対応、権利擁護への住民参加など）
発 表 者：齋藤伶耶（社協）、大谷庄司（病院）、原智美（行政）
 - ② 相談援助（援助困難事例、専門職のシレンマ、アウトリーチの実際など）
発 表 者：西牧俊介・松澤広美（居宅支援事業所）、栗林幸隆（高齢施設）
 - ③ 地域支援（地域のサポート体制、多職種ネットワーク、社会資源創設活動など）
発 表 者：平塚直也（社協）、進藤竜一（社協）、神原久美子（児童施設）
 - ④ 福祉経営（法人の現状と課題、人事考課、リスクマネジメント、経営実践など）
発 表 者：小林俊之（介護保険事業所）、青木靖志（法人本部）、米盛健（病院）
 - ⑤ 実践研究（実践活動と評価、災害ボランティア、累犯障がい者支援など）
発 表 者：守屋幹雄（独立事務所）、山崎博之（社協）、石川貴浩（定着センター）
15:10～ シンポジウム
 - テ ー マ 地域共生社会に向けて社会福祉士に求められる実践力とは
～包括的相談支援体制づくりと地域支援に必要な専門性～
 - シンポジスト 端田篤人氏（長野大学社会福祉学部准教授、本会会員）
// 菅津公子氏（長野大学社会福祉学部特任教授、本会会長）
// 鈴木忠義氏（長野大学社会福祉学部教授、本会会員） 他1名調整中
 - コーディネーター 川島良雄氏（長野大学社会福祉学部長・教授、本会会員）
16:40～ 閉 会
- 8 定 員 200名
- 9 参加費 無 料
- 10 参加者 関心のある方どなたでも参加できます。
- 11 申込み 裏面の申込書で、メールまたはFAXで申込みください。
- 12 問合せ 長野県社会福祉士会（〒380-0836 長野市南県町685-2 長野県食糧会館6F）
TEL：026-266-0294 FAX：026-266-0339 E-Mail：info@nacs.jp HP：<http://nacs.jp/>